

2018年7月9日

2018年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象

日本社会心理学会  
会長 浦光博

2018年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象について、規程に従って下記のように選考を行いました。研究支援担当常任理事・唐沢かおり氏（東京大学）を委員長とし、齋藤和志氏（理事：愛知淑徳大学）、池田浩氏（理事：九州大学）、小林知博氏（神戸女学院大学）、繁榊江里氏（青山学院大学）の各氏を委員とする選考委員会が構成され、慎重な審議をお願いしました。その結果、大学院生枠の応募1件に対して、支援対象候補者として推薦することに決定しました。これについて、常任理事会および理事会にて審議の後、承認されました。なお、若手研究者枠については応募がありませんでした。

なお支援金額は、規定に従い「航空運賃の半額+学会開催日数×5000円」とします。支援対象者の方は、発表の完了後、支援申請金額の根拠となる書類を添えて速やかに学会事務局に申請して下さい。

<支援対象者（敬称略）、発表題目、発表学会>

1. 大学院生枠

- ・山本佳祐（やまもとけいすけ）大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程1年

When and why are helpers criticized? The mechanisms whereby ulterior motives are inferred. (Society for Personality and Social Psychology, Portland, U.S.A. 2019年2月7日～2月9日)

以上